



みどりの風

平成29年7月号 在籍児童数480名

学校教育目標

- 自ら考えのびる子
- 思いやりのある子
- 進んで体をきたえる子

楽しく学ぶ

校長 吉野高男

梅雨空が続き、つい空を見上げることが多い日が続いています。子ども達は、梅雨の晴れ間の水泳学習を楽しみに元気に過ごしています。6月は、保護者の皆様には、土曜公開に続き月末の授業参観と度々、学校にお出で頂き誠にありがとうございました。子ども達の学び合う姿はいかがだったでしょうか。また、6年生は市内陸上大会で「篠っこ」らしさを発揮し、真摯に粘り強く頑張ることができました。練習の成果が出て男女とも多くの種目で入賞することができました。まさに「篠小の顔」にふさわしい活躍ぶりでした。

さて、本校は目指す学校像として、「楽しく学ぶ 心をみがく 未来をかたる学校」を掲げております。これは、校歌の歌詞から取り上げたもので、「楽しく学ぶ」は1番に、「心をみがく」は2番に「未来をかたる」は3番にあります。その中の「楽しく学ぶ」ことを6月のお話朝会で考えてみました。子ども達にまず「学んでいてどんなときに楽しいと感じられますか」という問いを投げかけました。小グループでの意見交換の後、全体に訊ねてみると多くの手が挙がり、本校の多くの児童が、学ぶ楽しさを体感しているのだと受け止められました。「わからなかったことがわかったとき」「できなかったことができたとき」「家で勉強していて、家の人に頑張っているねとほめられたとき」「グループで話し合っってわかったとき」などの意見が出ました。そして、2つ目の問いとして「もっと楽しく学ぶためにはどうしたらいいですか」と問いかけました。学ぶ楽しさを知る子ども達は、「グループで一緒に考えると難しいことでもわかる」「間違えても、その間違いからまた、考える」「グループだけでなくクラスみんなと話し合ったり、一緒に調べたりするともっと楽しく学べる」というような考えが出されました。まさに探究と協働という学問の本質に迫る考え方で、全校の前で発表した児童は、丁寧に自分の言葉で学びに対する考えを述べることができ、聴いている児童から自然に称賛の拍手が起きました。「わかる、できる喜びを共有し、共に伸びようとする」姿勢が子ども達に定着しつつあると感じられた1コマでした。



全校朝会の様子

まもなく長い夏休みが始まります。子ども達の生活の場面は家庭と地域になりますが、保護者の皆様、地域の皆様には、普段以上に子ども達の安全を見守って頂きたくお願い申し上げます。2学期始業式には全員が元気に登校できることを願っています。よろしくお願いたします。